

2013 年冬 TC 技術検定 2 級使用説明制作実務[MP] 実技試験の出題意図

レベルは変わらないものの、たくさんの情報を読むとか、ヒネリのきいた問題形式がでてきた。じっくり読み込み、出題の意図や解き方をとらえれば、解答量（文字数）は多くないので手間はかからない。とくに、記述形式の文字数や省略方法など細かく指示がされているので、精緻な解答力が必要とされた。

【課題 1】

フードプロセッサの目次案が題材。性能の異なる 2 つのフードプロセッサの目次案を条件に従って作成する問題。ただし、フードプロセッサの性能の違いは、形状やサイズ、パワー、制限事項などの説明を読んで把握する必要がある、その違いで目次案が異なる。機能を特定するには簡単な計算が必要であるが、式に当てはめれば確実に特定できる。2 つの異なる目次案を表形式で並べて記述するが、記述条件を間違わなければ完成できる。

【課題 2】

インターネットサービスへの登録作業が題材。2 つのサービス仕様書から、登録手順（Web ページの遷移）を導き出す問題。仕様書の内容は多いが、よく見ると事項の説明が多く、手順そのものは少ない。また、解答は選択肢の記号を並べるので、インターネットサービスの経験が少なくても、手順は見いだせる。

【課題 3】

多言語展開の翻訳を行う場合の留意事項が題材。特徴的な言語の留意点を選択肢から選択、その理由を決められた文字数で記述する問題。翻訳業務を行ったことがなくても、ガイドブックで取り上げている特徴的な言語であるため、基礎知識で解答できる。

【課題 4】

PDF ワークフローによるオフセット印刷が題材。ワークフローの流れ図の空欄を埋めるキーワードを選択肢から選択、データに関するエラー表示への対応を、決められた文字数で記述する問題。PDF に詳しくなくても、ガイドブックで取り上げている仕様の違いであるから、選択肢から連想して解答は得られる。

【課題 5】

外付けハードディスクの取扱説明書が題材。2 つ折りシートマニュアルの片面について、レイアウトルールと内容（項目や見出し名）に基づいた初校に、間違いの指摘と修正指示を行う問題。指示は例に合わせて、2 つ折りの区画の場所・項目名・指示を記述する。解答欄を埋める分だけ指示を見つければよいので、区画ごとに一つ一つレイアウトルールと内容が合っているかを比較すれば解答できる。